

京機会ニュース

No. 7 平成 12 年 (2000 年) 10 月 10 日

京都大学機械系工学会

事務局：〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院工学研究科機械系工学専攻

TEL & FAX: 075-753-5183, E-mail: keikikai@mech.kyoto-u.ac.jp

<http://mech-server.mech.kyoto-u.ac.jp/kikai/>



京都大学機械系工学教室第二世紀記念碑除幕式（中庭にて）

目次

平成 12 年度京機会秋季大会開催の案内	2 頁	4. 平成 12 年度総会	
第二世紀記念式典および関連事業の報告	3	5. 関西支部総会	
1. 教室公開		6. 懇親会	
2. 記念碑の除幕とレセプション		平成 12 年度京機会役員	6
3. 第二世紀記念式典		京機会名簿の発行	6
4. 記念講演		情報ネットワーク	7
5. 記念祝賀会		平成 11 年度の会計報告について	7
平成 12 年度京機会評議員・春季大会・総会 の報告	5	関東支部の設立について	7
1. 評議員会		中部支部設立へ	8
2. 学生と先輩の交流会		関西支部報告とお知らせ	8
3. 講演会		教官の異動	10
		会員のページ	10

平成12年度京機会秋季大会開催のご案内

本大会を下記により開催いたしますので、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

日 時：平成12年11月10日(金) 14:00～17:30
会 場：三菱重工業(株)神戸造船所 設計開発センター 12F
〒652-8585 兵庫県神戸市兵庫区和田崎町一丁目1番1号 電話：078-672-2398
集合場所：JR神戸駅北側出口付近(当日は京機会開催の看板等を用意しています。)
送迎バスにて会場までご案内します。(自家用車でのご来場はご遠慮ください。)
集合時刻：13:20(バス出発時刻 13:30)

秋 季 大 会(14:00～17:30：設計開発センター 12F 大会議室)

- 1.挨拶および三菱重工業(株)会社概要説明(14:00～14:20)
高砂製作所 副所長 森田 正彦 氏
- 2.技術講演会(14:20～16:00)
 - (1)原子力発電用・輸取出替蒸気発生器の開発
神戸造船所 原子力設計部 水谷 敏行氏(平成元年機械卒)
 - (2)発電用ガスタービンの開発と動向
高砂製作所 タービン技術部 有村 久登氏(昭和59年機械卒)
 - (3)ロボット技術のメカトロ製品への適用
高砂研究所 機器・自動化装置研究室 常脇 寛氏(昭和58年精密卒)
- 3.神戸造船所・工場見学(16:00～17:30)
- 4.閉会
希望者については、JR神戸駅経由新神戸駅までバスにてお送りします。

懇 親 会(17:30～19:30：神戸造船所 設計開発センター 12F ダイニングルーム)
会費：7,000円(当日、同会場でお支払い下さい。)
懇親会終了後、JR神戸駅経由新神戸駅までバスにてお送りします。

○準備の都合上、10月31日(火)迄に同封のはがきにて出欠のご返事をお願いします。

平成12年度京機会春季大会・学生と先輩の交流会





京都大学機械系工学教室第二世紀記念式典 および関連事業の報告

京都大学機械系工学教室第二世紀記念式典が平成12年7月14日(金)、京都ホテル(4階、暁雲の間)において開催されました。当日は機械系工学教室が創立後、初めて世に卒業生を輩出した日からちょうど百年にあたる佳日であり、天候にも恵まれ、会は総勢183名の出席者を得て盛大に挙行されました。その模様を下記に報告します。なお、前日の7月13日(木)には教室公開、記念碑の序幕、レセプションの記念式典関連事業も機械系教室にて行われました。



1 教室公開

記念式典の一環として、装い新たになった物理系校舎、2号館、工場棟における研究室、実験室、ならびに共通施設としての、情報処理演習室・学生実験室・CAD室・電子顕微鏡室・物理工学系図書室の公開も行った。各研究室には、事前に研究概要とそのミッションステートメントを用意していただき、ガイドブックとして来訪者に配付した。研究室の公開では、学生諸君の日ごろの研究室生活のありのままを見ていただく貴重な機会になったとともに、研究内容を紹介するパネルの展示や実験・デモンストレーションなどそれぞれの工夫を凝らして研究を諸先輩方にご紹介することができた。来訪者の先輩の方々には、自らの研究室時代に思いを馳せていただくと同時に、当時からの研究内容や研究室風景そのものの様変わりの実感を十分に実感していただけたようである。

公開場所が大きく三ヶ所に亘って分散しており、時間的にも当日午後2時から除幕式までの限られた時間帯であったこともあり、なかなか公開施設をすべてご覧いただくことは難しかったのではと思う。それでも研究室では大先輩が若い学生を捕まえて話し込んでおられる風景も至る所で見られ、孫とおじいさんという年齢好での会話もはずんでいたようで、まさに世代を超えた貴重な交流の場になったと考える。

2 記念碑の除幕とレセプション

午後4時40分より、中庭に設置された記念碑の除幕式が行われた。幸い、この季節としてはしのぎやすい気候の中で、鳥進教授(S40)の司会のもと、「老若男女」ということから、奥島啓式(S12)、榎木義一(S14)両名誉教授、最若手の助手ということで斉藤元浩君(H8)、矢部研博士課程学生平山朋子さん(H9)の合計4人により序幕が行われた。その様子が写真からご想像いただけるであろう。なかなか立派な記念碑であり、後世に残るであろう。

続いて、会場を玄関ロビーに移し、レセプションが行われた。そこには桂キャンパスの立体模型も置かれ、先輩方や学生ともに移転後の姿に思いを馳せた。缶ビールなど飲みながらの気楽な歓談が行われた。通りがかりの学生も参加して、大先輩から

昔の海軍の話聞くなど、得難い機会でもあったようである。先輩・現役の交流の場として有意義であった。

3 第二世紀記念式典

記念式典は当日、午後1時30分から、吉村允孝(S43)・精密工学専攻長代理の司会のもとで挙行された。

まず、駒井謙治郎(S38)・記念事業会実行委員長が、拠金状況および記念事業内容を報告し、本事業への支援にお礼を述べるとともに、今後ともご指導・ご鞭撻をお願いしたいと挨拶した。ついで、矢部寛(S35)・機械系工学教室代表が、設立以来の百年の歴史と現在の大学情勢を紹介し、これまでの支援にお礼を述べるとともに、今後ともご支援をお願いしたいと挨拶した。続いて、西八條實(S20)・京都大学機械系工学会会長が、新しい百年でも情報などの分野と融合して重要な役割を果たすであろう機械技術と第二世紀事業会の発展を祈念すると、お祝いの言葉をよせられた。中川哲(S38)・卒業生代表は、機械工学が産業の共通基盤として時代の要請に応え続けること、大学が情報発信・交換の場および知的センターとしての機能と産業界・地域と密着した社会貢献を果たすことを期待すると、お祝いの言葉をよせられた。最後に、北村隆行(S52)・記念事業会計幹事が会計報告を行い、植木努(H元)(公認会計士)・監査が適正と認めたと報告した。

4 記念講演

記念式典に続いて、午後2時30分から木村健二(S51)・機械物理工学専攻長の司会のもと、「産官学連携教育をめぐる」をテーマに、4件の講演が行われた。

4-1 小澤三敏(S33)・住友重機械工業株式会社社長(現会長)は、京機副会長でもあり、産業界代表として産学連携に関する提言を行った。まず、最近2年間の経営環境の変化として、以下5項目を挙げ、それぞれ解説した。(1)意志決定が社長から取締役会へ。執行役員(社長)と取締役を分け、会長は取締役会の議長としての立場から社長を評価し事業を査定する。(2)企業内容の透明性重視。事業ポートフォリオを示し、財務力を縦軸、競争力を横軸にとり、事業ユニットの位置づけと投

資額を投資家に示し判断させる。(3) 収益拡大から企業価値増幅へ。事業ユニットのコンピタンスツリーの中で、コアコンピタンスが企業価値を決定する。(4) 規制緩和・ポーターレス競争。競争相手が国内から世界へ。(5) 専門化・公正な評価と対面。「栄え抜きの社長」という時代から、社長も取締役も専門家という時代へ。最後に、実用研究という場で産学連携が模索されれば良い、と産学連携の将来を展望し、あらたなコンピタンスに産学連携を入れて、これから検討するチームを社内に作りたいと提案した。講演後、大学側への要望について駒井教授から、ベンチャー経営について井街教授(S41)から、それぞれ小澤氏のお考えをお伺いしたいとの質問を受けた。

4-2 井街宏・東京大学大学院医学系研究科医用生体工学講座教授より、医用生体工学としての人工心臓というタイトルで御講演いただきました。まず、医用生体工学が医学と工学の境界領域であるというお話から、人工心臓の研究・開発の課題と難しさについて解説されました。井街先生の研究成果である機械的な補助心臓は世界であわせて7千例以上もの臨床応用例があり、完成の域に達しています。境界領域研究のための十戒等でオリジナリティの重要性を説かれ、最初はすべて自分で作るという方針から医学部学生が工作機械等の設備を使用して実験装置の製作を行っているとのこと。完全人工心臓についても、最初から海外の研究のように完全埋め込み型にアプローチするのではなく、心臓と人工心臓をパラレルにつなぐタイプから、ステップを踏んで解剖学的な要因を排除しつつ、完全埋め込み型に近づけておられています。また、生体自体に人工心臓を制御させるという常識にはとらわれない研究結果(1/R制御)を完全人工心臓移植後 532 日間生きたヤギのビデオとともに紹介されました。最後に持参いただいた人工心臓で様々な流れが実現できることをデモしていただきました。

4-3 小中元秀(H46)・科学技術庁官房審議官(研究開発局担当)が産学官連携について、官の立場から講演された。初めて「国の出資金は全て回収する」という原則を崩して成果の共有を認めさせたのは、創造科学技術推進制度であり、同氏はこの制度の立上げにも関与されている。なお、産学サイドのインセンティブを上げる「共有」は現在の主流になっている。まず、研究開発活動の現状(研究費と研究者数の国別比較、など)から、日本では研究者一人当りの研究費が少ないことが示され、出資の平均化の是非が問われた。また、科学技術庁関連の出来事から、現場の品質保証の低下とその回復のための動向、ならびに原因が「突込める人の減少」にある事が示唆された。産学官協力に関しては、問題点、各立場におけるメリットとデメリット、それに対する同氏のコメントが整理され、独立法人化が進んだ時の予想が示された。また、現在、産学官連携を推進している科学技術振興事業団の取組みとして、研究拠点の作成・成果や

アイデアの特許化・成果の実用化やベンチャー企業育成支援などが紹介された。最後に、今後の産学官の在り方に関連して、文部科学省発足の影響、文部科学省と現省庁との仕事の対応関係、次期基本計画が紹介された。それによると、出資の重点化、競争的資金の増加、間接経費の増加、若手研究者の独立推進、研究成果活用支援、研究施設の整備が計画されている。

4-4 「第二世紀をむかえる京都大学機械系工学教室の Policy、Strategy、Tactics」と題し、大谷隆一(S37)・機械物理工学専攻教授がそのいくつかは私見と断られた上で、機械系教室の今後取るべき「産官学連携教育」の方向を示された。まず、帝国大学の設置から大学院重点化に至るこれまでの国立大学の沿革と、これらが外部の要請、御上の「お墨付き」のもとに実施されてきたことを紹介された。また、その間、社会における“存在の必然性”を全く意識せず存続してきた大学に対して、今後はアカウントビリティ(説明責任)の重要性と、そのための大学のポリシー(政策・未来像)構築、学部・学科の専門学問に関するストラテジー(戦略・方針)設定と実行、教官自身の教育・研究に関するタクティクス(戦術・方策)試行の必要性を説かれた。政府も産官学連携研究のテコ入れを図っているものの、どうも御上はScienceとTechnologyを混用しているのではとの疑問も投げられ、Scientific Technologyでなく Science & Technologyでこそ連携が実を結ぶとされた。すでに関西でもいくつかの大学は産学連携推進体制を整え始めているが、要不要は別に、京都大学にはそのようなセンターがないことを指摘されるとともに、再度「産官学連携のあり方」に関するアカウントビリティの必要性を強調された。

5 記念祝賀会

午後6時より同じく暁雲の間にて記念祝宴が催された。参加者141名。司会は吉田英生(S53)・機械工学専攻長。まず、第二世紀事業実行委員会を代表して鈴木健二郎教授(S37)から開会の挨拶があり、来賓、出席者への謝辞が述べられた。次に、卒業生を代表して永井将・京機会関西支部長(S31)よりご祝辞を頂戴した。引き続き、奥島啓式名誉教授(S12)のご発声により乾杯が行われ、その後しばし歓談。午後7時頃から、小寺秀俊助教授(S55)より第二世紀記念事業と桂キャンパスについての概要説明が行われた。続いて、井上達雄(S38)・エネルギー科学研究科エネルギー変換科学専攻教授より、エネルギー科学研究科の概要と機械系工学関連教室としてのエネルギー変換科学専攻が紹介された。さらに、片井修(S44)・情報学研究科システム科学専攻人間機械共生系講座教授から、情報学研究科の概要と機械系工学関連講座としての人間機械共生系講座が紹介された。その後再び歓談の時がもたれ、最後に列席者中最年長の仲本豊一氏(S10)の音頭で万歳が三唱され、午後8時頃に和やかな雰囲気の中お開きとなった。

平成12年度京機会評議員会・春季大会・総会の報告

1. 評議員会

評議員(学年別幹事)会は、総会の当日午前中に、委員約20名の参加を得て開催された。教室側から京機会の活動の概要と、機械系工学教室第2世紀事業に関し、京機会情報ネットワーク等について説明があった。

京機会の今後の運営に対する意見として、会費納入をよりスムーズにする工夫の検討、会員の縦横の連携のための学年単位あるいは企業単位でのまとめ役を置くことの検討、連携を密にするためのネットワークの確立等の必要性が指摘された。また、京機会情報ネットワークに関して、セキュリティとアクセスのしやすさ、公開と機密保持という相反する要求に対して十分に検討してほしいとの要望があった。

2. 学生と先輩の交流会

昨年に引き続き、社会で活躍する機械系工学の先輩と在学生とが接触する機会として標記の会を企画した。33機関(32社+国家公務員)から卒業生に来ていただき、在学生も2年生から修士の学生まで約300名が参加した。熱気に溢れた意欲的な交流がなされた。

3. 講演会

(1)小林忠嗣氏が講演「技術者にとっての起業および転職」

昨今話題となっている・起業、株式上場、資金集めなどやりやすくなっている・技術屋にとって、リストラになってから転職しようとしてもむずかしい・早くからそれを自覚して準備しておく必要がある・起業ができる人なら転職も成功する・などについて多くの事例や体験をもとに講演された。ベテランのみならず、若い人にも参考になる話であった。

小林氏はS47年本学機械系教室卒業後、(株)島津製作所を経て、日本生産技術研究所(現日本LCA)入社、S61にベンチャー・リンクを設立した。LCAはH10年より再就職支援事業に進出している。ベンチャー・リンクは新しいビジネスを創出するための経営情報を提供する情報サービス会社として成長している。現在は(株)日本LCA会長、(株)ベンチャー・リンク社長

(2)「ITSとその周辺の話題」熊本博光(S44、京都大学大学院情報学研究科システム科学専攻教授)

同窓会的な話題として、学部卒業当時の学園紛争などの往時を振り返った後、システム信頼性と安全性の研究から交通事故の安全解析に興味をもち、現在はITS(Intelligent

Transport System:高度道路交通システム)の研究に力点を移しつつあるという経緯を述べた。機械系から情報学のシステム科学専攻に移ったが、「情報」と「システム」に「力学」の要素を加えた三極構造で、情報学の中での機械系出身者としての活動の場を求めたいという抱負を語った。また、このような構造が現れる一例として、撃心を制御基準点とした操舵制御の例などを紹介した。

4. 平成12年度総会

講演会に引き続き、同会場で平成12年度京機会総会が開催され、下記の件が報告、承認された。

(1)平成11年度会計報告の件

塩路幹事から会計報告、植木監事からの監査報告があり了承された。(平成11年度収支決算書は別紙に掲載)

(2)役員改選の件

平成12年度の役員として、
会長 西八條 實 (S20)
副会長 永井 将 (S31)
小澤 三敏 (S33)
矢部 寛 (S35)

を選出した。京機会の運営として会長、副会長ならびに会長指名の学外の幹事による幹事会を構成して取り組んでいることの説明があった。

(監事・常任幹事・大学側幹事評議員は6ページに掲載)

(3)支部設立の件

関東支部の設立が総会にて承認された。支部活動の趣旨や支部役員は7ページで詳しく紹介する。また、現在、中部支部も設立準備中である。(7、8ページ参照)

(4)第二世紀記念事業の件 (3ページ参照)

5. 関西支部総会

関西支部総会が開催され、支部活動等の報告があった。8ページに詳しく紹介する。

6. 懇親会

京大会館で懇親会が開かれた。参加者76名。乾杯の前に本大会の参加者は141名との紹介があった

平成 12 年度京機会役員(敬称略)

会 長	西八條 實 (S20、(株)島津製作所 相談役)	昭 39	岸田 尚	澤田 邦昭	長井 俊彦
副会長	永井 将 (S31、日立造船(株)顧問)	昭 40	荒川 義光	柳井 誠	
//	小澤 三敏 (S33、住友重機械工業(株) 会長)	昭 41	古池 治孝	豊田 洋民	中垣 邦弘
//	矢部 寛 (S35、京都大学精密工学専攻教授)	昭 42	有光 秀雄	中村 顕	平尾 隆
監 事	池上 詢 (S33、京都大学名誉教授・福井工業 大学工学部機械工学科 教授)	昭 43	宇野 義幸	江藤 孝治	山中 猛
	植木 努 (H元、J-7総合会計事務所 代表)	昭 44	神田 剛	並木 宏徳	二井内 親兵衛
常任幹事		昭 45	各務 嘉郎	阪口 喜好	西田 光男
指名幹事:	森川 龍一 (S25、森川功・マシ 代表)	昭 46	千田 衛	松宮 徹	後藤 久夫
地区代表幹事 (関西):	松尾 宗雄 (S46、(株)三菱重工業)	昭 47	秋山 雅義	太田 誠一	小澤 豊
//	(関東):熊澤 正博 (S43、(株)日立製作所 公共統轄本部 副本部長)	昭 48	檀浦 貞行	成宮 明	安盛 善
//	(中部):伊勢 清貴 (S53、トヨタ自動車(株))	昭 49	閑納 真一	木枝 茂和	日下部 博昭
大学側幹事		昭 50	長田 守弘	長岐 滋	盛林 茂夫
総務・支部担当:	松久 寛 (S45、精密工学専攻 教授)	昭 51	中筋 和行	深野 明	本城 正朗
名簿担当	:熊本 博光 (S44、情報学研究科/工学科 専攻 教授)	昭 52	尾上 正剛	小畠 敬良	藤山 一成
広報担当	:北村 隆行 (S52、機械物理工学専攻 教授)	昭 53	北川 聡一	竹ノ内 壮太郎	
	:小寺 秀俊 (S55、機械工学専攻 助教授)	昭 54	尾崎 永一	坂口 保彦	富田 栄二
会計担当	:塩路 昌宏 (S50、工科院-科学研究科 工科院-変換科学専攻 教授)	昭 55	奥田 寛	姫田 篤	宮地 豊
評議員		昭 56	岡田 俊治	竹内 芳裕	羽田 英夫
昭 22	岸本 雅夫	昭 57	三宅 俊也	矢辺 保行	
昭 25	森川 龍一	昭 58	池内 清晃	永瀬 豊	疋田 理
昭 26	岡田 守夫	昭 59	平 弘二	長岡 壯壽	浜本 成久
昭 28	寺谷 忠郎	昭 60	洲崎 章弘	鈴木 洋	村上 弘記
昭 29	久光 脩文	昭 61	栗村 隆之	粉川 良平	二股 一郎
昭 31	東 良学	昭 62	川上 浩司	佐成 弘毅	篠原 健治郎
昭 32	河本 恭爾	昭 63	加賀 邦彦	久保木 孝	村田 健史
昭 33	岸本 秀弘	平元	柴田 豊	望月 正人	鳴海 一雅
昭 34	大泉 治朗	平 2	内山 雅史	畑 善裕	三輪 雅彦
昭 35	太田 脩二	平 3	佐藤 利勝	高嶺 研一	能勢 幸嗣
昭 36	四方 光夫	平 4	佐部利 誠司	林 秀樹	福谷 和久
昭 37	小野 孝之	平 5	廣門 泰樹	八十 格	雪本 徹
昭 38	中川 哲	平 6	安威 俊重	阿部 健一郎	松田 好史
		平 7	井尾 賢司	泉 祐志	古賀 響
		平 8	笹田 義幸	塩瀬 隆之	平澤 拓
		平 9	佐野 智一	杉原 了一	平山 朋子
		平 10	鶴飼 宗紀	古株 慎一	

「京機会名簿 - 卒業生輩出 100 周年記念号」の発行

事務局での電子化で版下を作成することにより、名簿発行収支の大幅な改善が期待できるようになりました。版下は Excel のデータベースを Access にリンクし、後者のレポート機能で出力したものです。ただ、電子化初年の今回は、全て逝去の学年は別添 1 頁挿入ということになりましたし、依然として内容と現状の不一致が散見されます。名簿担当の私の力量不足が現れた結果でご容赦頂きたく存じます。

なお、前回のニュースでもお知らせしましたが、平成 10～12 年度分会費完納の皆様には、今夏、無償で名簿をお送りしました。その後に 3 ケ年分完納いただきました方々にも随

時贈呈いたしております。また、割引頒布もあります。購入希望の方は価格をご確認の上、下記、事務局までお申込み下さい。(名簿定価:6,000 円、割引頒布価格:会費 2 年分納入者 2,000 円・1 年分 納入者 4,000 円)ご購入の場合、支払いはお届け後、同封の振込用紙にてお願いいたします。その他ご不明の点がございましたら事務局までお問合わせ下さい。

名簿担当 熊本博光(S44)
京機会事務局 TEL & FAX : 075-753-5183、
E-mail : keikikai@mech.kyoto-u.ac.jp

情報ネットワーク

第二世紀記念事業の一環として、作製しておりますホームページ「京機会情報ネットワーク」には、7月13日の「記念碑の除幕式」と翌14日に行われました「記念式典」の様子を掲載しております。今後、リカレント教育等の案内及び参加

登録等も行おう予定です。

前回のニュースレターでもお願いいたしましたが、「人材ネットワークの技術者登録」に登録くださいますようお願い申し上げます。

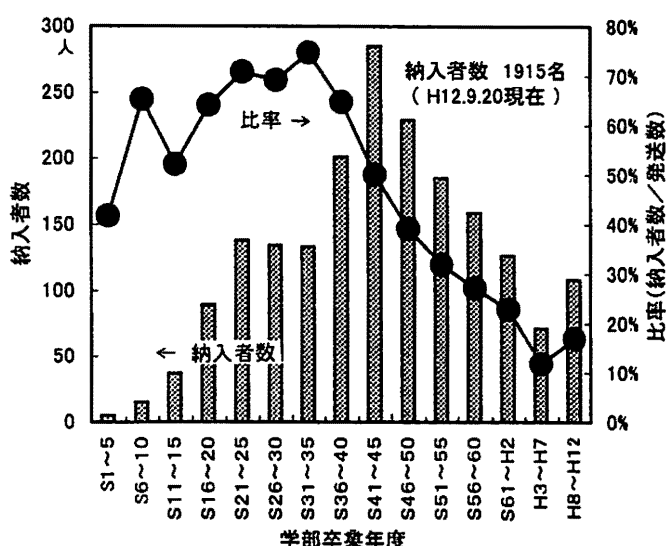
平成11年度の会計報告について

別紙の収支決算報告の通り、平成11年度は会費収入が増え、繰越金が前期より約300万円増加します。これにより、本年度の名簿発行・送付に要する経費が賄えました。支出については、春季・秋季大会案内および京機会ニュースの印刷・発送費、人件費、支部交付金が主な使途ですが、名簿管理やはがき印刷を事務局で行っていることから外部委託とした場合の経費が節約でき、支出を最小限に抑えています。また、会費納入者が昨年度末から増加したのは、名簿を納入年数に応じて割引価格にて頒布するとしたためと思われます。下図に平成11年度会費の現時点における納入状況を示します。これ以外にも平成10年度に遡って納入された方や平成13年度以降まで前もってお支払いいただいている方が多数おられます。

本年度から銀行預金口座振替が利用でき、毎年の振込送金の手間を省けることとなりました。既に47名の方が手続きされ、本年度より自動引落しで納入いただいています。ご希望の方は同封の秋季大会出欠用はがきにて事務局へお申し出下されば、所定の用紙を送付致します。

関西支部に続いて本年度には関東支部が設立され、中部支

部も予定されています。それら支部で企画される行事のほか学年同窓会、各種会合など、それぞれの地域・世代での活発な活動支援の基盤を確保するためにも、引き続き会費納入および銀行預金口座振替の利用をよろしくようお願い申し上げます。



関東支部の設立について

京機会関東支部の設立が平成12年4月21日の京機会総会で承認されました。関東地区でご活躍されている会員の皆様の交流を図ることを目的とし、人的ネットワークの拡大を図りたいと考えております。当面年1回総会を兼ねた新年会を行うことを計画しております。以下に記載した支部の役員と10幹事企業の評議員によって運営していくことにしています。

関東支部役員(案) (敬称略)

支部長 小澤 三敏 (S33 住友重機械 会長)
 副支部長 松久 寛 (S45 京都大学 教授)
 二宮 敏 (S33 バブコック日立 社長)
 事務局長 熊澤 正博 (S43 日立製作所)
 事務次長 藤川 卓爾 (S42 三菱重工業)
 寺門 良二 (S35 新日鐵 副社長)

評議員 志摩寿一郎 (S44 日産自動車)
 大山 敏 (S46 東芝)
 福岡 家信 (S45 新日鐵)
 西野征規男 (S42 日本鋼管)
 今井 和男 (S49 NTTドコモ)
 宇都宮正時 (S46 石川島播磨重工業)
 江藤 孝治 (S43 川鉄鋼板)
 三澤 吉次 (S48 本田技研)
 与川慎太郎 (S45 住友重機械)
 江上 秀男 (S44 富士写真フイルム)

関東支部設立総会および新年会

日時：平成13年2月3日(土) 午後5時より
 場所：赤坂プリンスホテル

関東地区会員には後日、別途ご案内いたします
 お問合せは京機会事務局まで

中部支部設立へ

京機会中部支部の設立準備が、松本和男(S41 デンソー)、加藤 由人(S42 トヨタ自動車)、伊勢清貴京機会中部地区幹事(S53 トヨタ自動車)らによって進められています。

本年 11 月 10 日の京機会秋季大会にて発表される予定です。行事予定などは次号からの京機会ニュースや京機会の本ホームページに掲載いたします。

関西支部報告とお知らせ

1. 関西支部総会報告

関西支部総会は 4 月 21 日の京機会総会にあわせて開催された。平成 11 年度活動報告、会計報告の後、平成 12 年度の役員が改選され、平成 12 年度活動方針・予算概要が審議・可決された。

なお、新役員は下記のとおり。

支部長	永井 将(再任、S31、日立造船)
副支部長	福森 康文(再任、S32、リットガス)
	坂戸 瑞根(新任、S32、神鋼テック)
	濱野 清士(新任、S40、中国ジェイアールバス)
	松久 寛(再任、S45、京都大学)
	森田 正彦(再任、S45、三菱重工業)
監 事	森川 龍一(再任、S25、森川テック・マシナ)
事務局長	松尾 宗雄(新任、S46、三菱重工業)
事務次長	坂口 保彦(新任、S54、西日本旅客鉄道)
評議員	三津田 恒夫(新任、S46、大阪ガス)

評議員 秋山 雅義(新任、S47、住友金属工業)
他 10 社は再任(No.5 京機会ニュース参照)

関西支部は発足して 2 年目になりますが永井支部長以下 5 名の副支部長を中心にして活発な活動を展開しています。年間 4 回開催予定の異業種交流会、産学交流会は更に登録会員を募り規模、内容ともに充実すべき取り組みを行っています。

今後の異業種交流会、産学交流会の開催案内を 9 ページに掲載しています。楽しい、有意義な会です。登録会員以外の方のご参加も歓迎いたします。また新年会も 9 ページに掲載のように盛大に開催することを計画しています。旧九日会の新年会と同じ雰囲気のと気藹々とした会合です。皆さまのご参加を待っています。

支部の運営等でご要望等がありましたら支部事務局・評議員にご連絡ねがいます。

2. 平成 11 年度京機会関西支部会計報告

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
本部からの給付金	654,000 円	異業種交流会	22,743 円
利息	71 円	(第 1 回通信費)	(4,580 円)
		(第 1 回写真代)	(929 円)
		(第 2 回通信費)	(7,300 円)
		(第 2 回写真代)	(1,390 円)
		(第 2 回交通費)	(8,544 円)
		産学交流会	60,472 円
		(運営給付金)	(60,000 円)
		(給付金振込費)	(472 円)
		運営会議 (会議費)	60,840 円
		雑費	30,555 円
		(名札代)	(3,780 円)
		(関西支部印鑑作成費)	(24,255 円)
		(宛名シール代)	(2,520 円)
		平成 12 年度への繰越金	479,461 円
計	654,071 円	計	654,071 円

(注)平成 11 年度の新年会は京機九日会と関西支部の共催で行われましたが、費用は参加会費と京機九日会の繰越金で賄い、京機九日会の会計で処理しております。

3. 異業種交流会案内

京機会関西支部第4回異業種交流会

日時：平成12年10月13日(金)
場所：(株)クボタ 堺製造所サービスセンター
(堺市石津北町64番地)

- 14:00 開会挨拶 京機会関西支部事務局
14:05~14:15 会社概要説明 (株)クボタ
14:15~15:00 堺製造所見学会
トラクター製造ラインなどの見学
15:00~17:00 講演会
①「トラクターの開発動向」 大西 直樹
②「小型汎用ディーゼルの排ガス規制動向及び対応技術」
佐々木 真治
17:15~19:00 懇親会(会費 3,000円)

京機会関西支部第5回異業種交流会

日時：平成12年12月4日(木)
場所：三洋電機株式会社
研究開発本部ニューマテリアル研究所
(大阪府枚方市走谷1丁目)

- 14:00~14:30 開会挨拶 京機会関西支部事務局
三洋電機(株) 執行役員
研究開発本部長 寺田 房夫
研究開発本部紹介 VTR
14:30~16:00 講演会
①「三洋における製品開発時間短縮の取り組み」
CE推進センター 河田 宏
②「ヒューマンシステム分野の研究開発」
メカトロニクス研究所 安田 昌司
16:00~17:00 見学会
①太陽電池、化学電池関連技術
②マルチメディア関連技術
③メカトロニクス関連技術
④エコノミックエンジニアリング関連技術
17:00~18:30 懇親会(会費 3,000円)

京機会関西支部第6回異業種交流会

平成13年2月頃 三菱重工業(株) 高砂製作所の予定

4. 京機会関西支部新年会案内

標記新年会を下記日程で開催予定しております。多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。なお、関西支部会員には後日、別途ハガキにてご連絡させていただきます。

新年会

日時：平成13年1月12日(金) 午後6時30分開宴
場所：ホテルグランピア大阪 19F「鳳凰」の間
(JR大阪駅ビル内)

会費：10,000円(但し、S57年学部卒以降の会員は5,000円)
当日は参加記念品をご用意いたしております。また、豪華賞品のあたる抽選会も企画しております。

5. 京機会関西支部産学交流会報告

第2回産学交流会材料および熱流体工学懇話会は4月8日(土)、設計・製造・機素・振動懇話会は3月25日(土)に京都大学において開催いたしました。講演内容は下記の通り。

- 材料工学懇話会
「産業用ガスタービンにおける材料問題について」
川崎重工業(株) 武 浩司(S54)
「本年度の卒業研究及び修士論文の中から
材料関係の研究内容についてのレビュー」
京都大学 小寺 秀俊(S55)
○熱流体工学懇話会
「コルゲートフィン型ヒートシンクの開発」
住友金属工業(株) 田坂 誠均(S60)
「水素エネルギー社会の実現にむけて」
京都大学 塩路 昌宏(S50)
「マイクロガスタービンについて」
川崎重工業(株) 藤井 龍雄(S50)
○設計・製造・機素・振動懇話会
「仮想と現実を繋ぐデザイン」
京都大学 榎木 哲夫(S56)
「摩擦減衰型免震装置の開発」
川崎重工業(株) 西田 徹(S59)

第3回交流会は7月8日(土)に京都大学において開催いたしました。講演後は3懇話会合同での懇親会が行われました。講演内容は下記の通り。

- 材料工学懇話会
材料講習会「分子動力学法による材料シミュレーション理論と材料強度解析」 京都大学 北村 隆行(S52)
「“ここまで来た” カラーレーザープリンタ(電子写真技術とデバイス)」 松下電器産業(株) 浦田 嘉人(S43)
○熱流体工学懇話会
「次世代型ごみ処理プラントについて—我が国におけるガス化溶融炉の開発状況—」
(株)クボタ 七里 雅隆(S49)
「エンジン用CFDコード“GTT”の研究開発」
京都大学 脇坂 知行(S44)
「ITS(Intelligent Transportation System)の技術動向について」 住友電気工業(株) 天目 健二(S47)
○設計・製造・機素・振動懇話会
「“カラーレボルバ”におけるレジストレーション技術(QLP Tメカニズム)」
松下電器産業(株) 吉川 正紀(S59)
「放送用VTRにおける互換性技術」
松下電器産業(株) 竹内 淳(S50)
「マシニングセンタの高速化と知能化」
京都大学 松原 厚(S60)

6. 京機会関西支部産学交流会のお知らせ

次回交流会は下記日程で開催する予定です。登録会員はもとより、登録会員でない方々の特別参加も歓迎します。多数のご参加をお待ちしております。なお、会員登録は随時受け付けております。

○第4回材料工学懇話会

日時：平成12年10月14日(土) 13:30～

会場：京都大学工学研究科物理系校舎 213室

1. 「粉末からネットシェイブ成形品を目指して」

京都大学 島 進(S40)

2. 「細径金属線冷間圧延技術の開発」

住友金属工業(株) 黒田 浩一(S55)

以降は設計・製造・機素・振動懇話会(3,4)に合流します。

☆今回からビール・茶菓で会場を潤滑しながら、上記講演、話題提供をネタに質疑、懇談を行う予定です。

○第4回設計・製造・機素・振動懇話会

日時：平成12年10月14日(土) 13:30～

会場：京都大学工学研究科物理系校舎 216室

1. 「ドライカットシステム」

三菱重工業(株) 中村 容造(S58)

2. 「歯車研削盤とその周辺技術」

三菱重工業(株) 橋谷 道明(S55)

3. 「ゴンドラ、船、吊り橋の揺れを簡単に止める」

京都大学 松久 寛(S45)

4. 「技術者認定制度(技術士、PE、CE、JABEE)の動向について」

☆今回もビール・茶菓で会場を潤滑しながら、上記講演、話題提供をネタに質疑、懇談を行う予定です

講演終了後、合同懇話会(214室)

○第4回熱流体工学懇話会は年末に忘年会を兼ね開催予定

7. 交流会登録会員について

関西支部異業種交流会・産学交流会の登録会員になって人的ネットワークを広げませんか

今年の京機会総会において、我が京機会会員で数少ないベンチャー企業の旗手である小林忠嗣氏(S47)は、「技術者にとっての起業および転職」と題する講演の中で、技術者としては、「確かな自分の技術」を保有する事も大切だが、それよりも彼が持っている「技術の理解力とネットワーク(自分が使える外部の人材や機関)を使って所期の目的を達成する能力」が求められる、と述べた。これは起業や転職だけでなく、技術管理者や技術経営者にとって最も重要な能力である。

関西支部は昨年、異業種交流会と産学交流会を立ち上げ、それぞれ年4回の会合を持っています(No5～7京機会ニュース参照)が、これらは正に会員による人的ネットワークの拡大を狙ったものです。年齢・所属を問わず登録会員になってネットワークを広げてみませんか。また登録会員でない方々の特別参加も歓迎します。お問い合わせと登録・参加申し込みは京機会事務局までどうぞ。

教官の異動

多田 直哉：本年7月1日 岡山大学助教授に就任

小寺 秀俊：本年10月1日 教授へ昇進

脇坂 知行：本年10月1日 大阪市立大学教授に就任

会員のページ

1. 「泰山会」の報告

(S27年入学/S31卒業 同窓会)

平成12年度の全体会合では、はじめての宿泊を含めて11月19～20日京都で実施することにしています。紅葉の保津川舟下りの後、亀岡ハイッ(日本勤労福祉センター)に宿泊。翌日はゴルフ、附近の散歩などを予定しております。

(田村 和彦 記)

2. 「S45卒またはS41入学」お知らせと報告

○平成12年秋季 同期会のお知らせ

開催日時：平成12年11月18日(土)13:00より

場所：フランス割烹 味館トライアングル

東京都千代田区平河町1-3-7 平河ビル2階
(03) 3239-6488

会費：1万円

参加者は、11月10日までに阪口 喜好君まで連絡をお願いします。

また、<http://webworker.unisys.co.jp/ww20/test/> に情報を載せています。

○平成12年春季 同期会の報告

4月22日京都丸山公園で実施し、下記の13名参加しました。井上 陽一(夫婦)・岩崎 隆二(夫婦)・川合 悦蔵・日下部 隆也・阪口 喜好・田保 栄三・名張 隆司(夫婦)・西田 光男(夫婦)・松久 寛

同期会のホームページは西田 光男君が献身的に作ってくれていますので、見てください。

<http://www.lares.dti.ne.jp/~mnishida/keiki45/>

松久 寛 (075-753-5225、matsu@prec.kyoto-u.ac.jp)

3.京機 23 年会同窓会のお知らせ

来る 11 月 16 日(木)に同窓会を開きます。

場所：京都センチュリーホテル (TEL：075-351-0111)

時間：11 時 30 分より

別途案内を送付します。2 年ぶりの再会です。出来るだけ多くの方の御出席をお待ちしております。

一昨年秋の五十周年記念同窓会以来、亡くなられたのは柳生政男君(平成 11 年 11 月 16 日)です。御冥福をお祈り申し上げます。
山田 啓之助

4.『五十年会』五十周年記念同窓会の報告

わが京都大学の創立 50 周年の 1947 年に入学し、1950 年(昭和 25 年)に無事に卒業、つい先達での 1997 年に機械系教室創立 100 周年を祝ったばかりのところ、今年 2000 年は我々『五十年会』同窓生は卒業して早くも五十年の歳月が経った事になる。各自が精一杯に生きて来て、気が付いたら既に半世紀が過ぎて居たと言うのが実感だ。そこで金婚式ならぬ、金卒業式をする積もりで嘗ての学び舎での記念同窓会を企画した。当日は快晴に恵まれて楽しい一日を過ごす事が出来ました。

I.日時：平成 12 年(2000 年)5 月 9 日(火曜日)

午前 9：30 より 15：30 までの 8 時間余り

II.場所：京都大学本部キャンパス構内の物理系校舎の 806 号室に集合、その後機械系各研究室を見学、更に医学部のレストラン「しらん」にて昼食と懇親会。

III.出席者：荒木 三郎、石川 俊介、小澤 和雄、木本 正文、合田 英之、沢田 義明、清水 光明、下間 頼一、田中 裕、長尾 剛一、野木 圭三、畠 正雄、福井 紀生、松浦 清一、三雲 暁、宮里 義一、森川 龍一、山中 正敏の各氏(合田、三雲の二人は昼食会のみ参加)以上 計 18 名。(同窓の存命者：30 名 物故者：10 名)

IV.会の進行：

1)工学研究科物理系校舎 8 階 806 号室に 9:30~10:00 の間に集合。揃っての教室訪問は 50 年振りであるにも関わらず、見学出席予定の全員が定刻に集まった。わざわざ精密工学垣野研究室の松原助教授のお出迎えを受ける。

2)初めに物理系校舎の東側にある建屋に行き、精密計測加工研究室の現状を松原助教授に教わり、次に伝熱工学の中部助教授から界面活性剤を用いた伝熱効率を高める研究を、続いて振動制御システム松久研究室の本田講師から校舎地下にある振動工学研究設備の案内と上階のゴンドラ制振システム模型の実演を見せて頂いた。次に材料強度学研究室の多田講師から上階の電子顕微鏡などミクロの研究設備、また東棟の材料試験室のマクロの材料試験の状況について説明を受け、最後に大谷隆一教授から VBL (Venture Business Laboratory) の前で説明を頂いた。

3)8 階の 806 号室に戻って今し方講義を終えられた矢部寛教授に詳しい資料による最近の京都大学大学院機械系研究室の状況を説明して頂いた。我々の時代は機械教室に教授を中心にした数講座のある単純な構成と一学年三十数名の学生であったが、当然の事ながら五十年の歳月は大学の内容にも著し

い変化を齎した事を認識した。

4)この後、806 号室にてビールや飲物で自由に歓談し、出席者の記念写真を撮った後、午後 2 時前より医学部レストラン『しらん』にて昼食懇談会。皆さん老けたとは言え学生時代と同じ顔で、それぞれ 50 年の人生経験後の現状を語り、誠に楽しい会合であった。『しらん』前にて全員 18 名の記念写真を撮り解散。

5)後有志で京都大学総合博物館を訪れたが改修中にて見学出来ず。(幹事森川の失策)

6)今回の記念同窓会に際して諸先生方には色々とお配慮を頂きお礼を申し上げます。また京機会事務局の段智子さんにも大変お世話になり有難うございました。

806 号室は我々 OB にとり大変有難い施設であり、御配慮頂いた先生方に改めて感謝する次第です。

註：秋の「第 56 回五十年会」は前回の大阪のレストラン『モンレーブ』に決定。

日取りは 10 月 30 日(月曜日)11:30 ~14:30 の予定。

(幹事 畠 正雄、森川 龍一)



レストラン「しらん」にて

5.平成 12 年度京大機会系 43 年卒同窓会のご案内

平成 12 年度の「京大機会系 43 年卒同窓会」のご案内をさせていただきます。昨年の同窓会でお約束した如く、トヨタ自動車の工場見学とセットで開催したいと考えております。万障お繰り合わせのうえ、ご参加いただけますようよろしくお願い申し上げます。

日時：平成 12 年 11 月 3 日(金)

13：15~16：00 トヨタ自動車高岡工場&トヨタ会館見学

16：30~20：00 同窓会(名鉄トヨタホテル)

6.「九月会」2000 年記念クラス会 報告

昭和 17 年 9 月機械工学科卒業生(九月会と呼称)のクラス会が平成 12 年 5 月 17 日に、東京霞ヶ関ビル内の「霞会館」で開催されました。

(写真は次ページに)



九月会 2000年記念クラス会 (於) 霞会館 平成12年5月17日

後列左より：森本、渡辺、藤沢、今井、杉生、松岡、池田、荒井、楠瀬
 前列左より：佐々木夫妻、河野、小林、板橋、西本、関、紀

7. 昭和29年卒(洛友会)同期会開催報告

平成12年度 洛友会総会

1.開催月日 平成12年3月26日(日)

2.会 場 下田温泉 黒船ホテル

昭和29年卒業のクラス会が平成12年3月26日、下田温泉で開催された。今回は関東地区在住の幹事による初めての同期会であり、参加者は17名であった。3月26日は11時に三島に集合し、マイクロバスに乗り葦山反射炉、天城越え、下田温泉めぐりを行った。翌3月27日にはゴルフ組、観光組に分かれて一日を楽しみ18時に三島で解散した。



8. 第12回機河会(河本研究室同窓会)の報告

—河本先生米寿祝賀会—

機河会の本年の総会は、平成12年8月26日(土)13:00~16:00の間、例年通りの会場の京大会館で行われた。とくに本年は、河本先生が満88歳のお誕生日を迎えられたので、米寿祝賀を兼ねて行われた。今回も河本先生は奥様ともどもおいで戴き、参加会員は例年を越す30名の多きを数えた。まず、記念撮影のあと開会し、春本謙一氏(昭・28新)

の司会により、冒頭に中川実行委員長(昭28新)より祝辞を兼ねた挨拶があり、河本先生にうぐいす色の袋に納めたお祝いが贈呈された。次いで、河本先生が、先生のご趣味の囲碁と、それを通しての小川三兄弟や、福井謙一などの諸先生方との交遊や、逸話などを披露された。先生は大変お元気で立って話そうとされたが、司会者がお座りいただくようお願いし、大きな声で朗々と話された。ごちそうを前にして少々長かったお話のあと、会員の長老格の中井肇氏(昭22)の音頭で乾杯し、自由歓談に入った。ひとりひとりビールでのどを潤したところで、旧制世代の代表として、西岡邦夫氏(昭23)、若い世代を代表して、並木宏徳氏(昭44)の二人からお祝いの辞が述べられ、当日不参の会員からの復信によるお祝いメッセージが司会者から読み上げられた。再び自由歓談に移り、出席者全員が近況報告など1~3分程度の短いスピーチを行った。初めての参加者も多く歓談に花が咲き、旧交を温め最新の情報交換をするなどなかなか盛況であった。今後のご健勝を祈り、来年のご出席を願いながら、退出される先生ご夫妻を見送ったあと、会員相互にこの会での再会を期して散会した。
 [中川隆夫(昭28新)記]

京都大学機械系工学教室第二世紀事業 記念式典風景



記念祝賀会・奥島名誉教授のご発声により乾杯



平成11年度京機会収支決算報告 (自H11.4.1至H12.3.31)

I. 一般会計の部

1. 収入

摘要	金額	内訳	
		明細	金額
前期より繰越	7,852,158	第一勧銀普通預金	191,198
		現金	12,800
		郵便振替口座	2,887,060
		郵便定期貯金	4,761,100
預金利息	57,461	定期預金利息(基本金分)	768
		郵便定期貯金利子	56,400
		第一勧銀普通預金利息	293
京機会会費	9,355,000	3101名(@3000) 不足12名(@2000) 過入金7名(@4000) (注)H12年会費 376名分を含む	
京機会名簿代	70,000		
京機会広告掲載料	60,000	2件(@30000)	
大会参加費	402,000	参加者67名(@6000)	
雑収入	20,000	京機九日会新年会案内発送業務委託料	
合計	17,816,619		

2. 支出

摘要	金額	内訳	
		明細	金額
会員通信費	1,564,740	評議員宛文書発送費	9,680
		H11年度春季大会・総会案内発送費	440,950
		秋季大会案内発送費	437,100
		H12年度春季大会・総会案内発送費	442,110
		返信はがき後納郵便料金	194,090
		名簿広告掲載依頼発送	18,050
		通信用切手等代	22,760
印刷費	1,951,409	H11年度春季大会・総会案内等印刷費	225,734
		秋季大会案内等印刷費	101,325
		H12年度春季大会・総会案内等印刷費	183,225
		京機会ニュース(4号)印刷費	346,500
		京機会ニュース(5号)印刷費	415,800
		京機会ニュース(6号・別冊)印刷費	678,825
消耗品費	777,917	文具等購入費	61,880
		パソコン関連用品購入費	716,037
人件費	1,250,086	常勤アルバイト代	1,182,988
		臨時アルバイト代	67,098
旅費	50,000	幹事会交通費	50,000
会講費	83,013	幹事会経費	83,013
大会経費	414,465	総会懇親会等経費	358,270
		総会関連経費	27,740
		秋季大会関連経費	28,455
支部交付金	731,500	関西支部交付金	654,000
		関東支部設立助成金	77,500
雑費	171,251	郵便振替振込手数料	148,780
		銀行振込手数料	5,250
		その他	17,221
合計	6,994,381		

3. 次期繰越金
(H12.3.31現在)

摘要	金額
第一勧銀普通預金	43,513
現金	90,879
郵便振替	1,870,346
郵便定期貯金	8,817,500
合計	10,822,238

4. 基本金

摘要	金額
第一勧銀定期預金	206,535
第一勧銀定期預金 (朝永、岡本、金子、菊川、西原、長尾、 棉本各基金を含む)	176,995
合計	383,530

II. 特別会計の部

1. 資産財産目録
(H12.3.31現在)

資産種別	金額	資産種別	金額
第一勧銀定期(005)	1,000,000	第一勧銀定期(011)	2,000,000
第一勧銀定期(006)	1,800,000	第一勧銀定期(012)	2,000,000
第一勧銀定期(008)	1,000,000	2年国債(野村証券)	7,200,000
第一勧銀定期(009)	1,000,000	第一勧銀普通預金	1,595,248
第一勧銀定期(010)	1,000,000		
合計		合計	18,595,248

2. 収支明細

摘要	収入	支出
定期貯金利子	16,087	
利付国債配当金	13,747	
普通預金利息	673	
合計	30,507	0

H10年度決算より
¥30,507 増